

目 標	<ul style="list-style-type: none"> 植物の発芽から結実までの過程、動物の発生や成長などをそれらにかかわる条件に目を向けながら調べ、見出した問題を計画的に追究する活動を通して、生命を尊重する態度を育てるとともに、生命の連続性についての見方や考え方を養う。 物の溶け方、てこ及び物の動きの変化をそれらにかかわる条件に目を向けながら調べ、見出した問題を計画的に追究したりものづくりをしたりする活動を通して、物の変化の規則性についての見方や考え方を養う。 天気の変化や流水の様子を時間や水量、自然災害などに目を向けながら調べ、見出した問題を計画的に追究する活動を通して、気象現象や流水の動きの規則性についての見方や考え方を養う。 	
	学期	学習内容・到達目標
前 期	<p>春が来て</p> <ul style="list-style-type: none"> 虫眼鏡などを用いてアブラナの花のつくりを観察し、記録することができる。 <p>発芽／発芽と養分／植物の成長</p> <ul style="list-style-type: none"> 種子の中の養分をもとにして発芽することをとらえることができる。 発芽には、水、空気及び温度が関係していることをとらえることができる。 成長には、日光や肥料などが関係していることをとらえることができる。 <p>メダカの誕生 メダカのたまご／メダカの食べ物</p> <ul style="list-style-type: none"> メダカのたん生やメダカの卵内での成長に興味をもち、世話や観察ができる。 顕微鏡を使って水中の微生物を観察し、その結果を記録することができる。 <p>ふりこ</p> <ul style="list-style-type: none"> 振り子実験装置を作り、おもりの動きの規則性に興味をもって調べようとしている。 <p>台風接近</p> <ul style="list-style-type: none"> 台風や洪水などの自然災害や、備えについて調べ、安全な行動のしかたを考えることができる。 <p>花から実へ 花のつくり／実のでき方</p> <ul style="list-style-type: none"> 雌しべや雄しべなどがあり、花粉が雌しべの先に付くと種子ができることをとらえることができる。 <p>天気の変化 空の様子と天気／天気の変化のきまり</p> <ul style="list-style-type: none"> 雲の量や動きと天気との関係に興味をもって調べることができる。 天気の変化に興味をもち、その規則性を意欲的に調べようとする。 	<p>流れる水のはたらき 地面を流れる水／実際の川／川の上流と下流／川の水量が増えるとき</p> <ul style="list-style-type: none"> 地面を流れる水や川の流れの様子に興味や関心をもち観察することができる。 身近な川の様子に関心をもち、流れる水のはたらきについて流水実験と実際の川の様子とを関係づけて考えることができる。 大雨による洪水などの学習を通して、自然の力の大きさを感じる事ができる。 <p>電流が生み出す力 電磁石の性質／電磁石の強さ／電磁石を利用したものを作る</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の電磁石を作り電流を流して電磁石の性質を確かめ、電流が流れているときに鉄芯が磁化され、電流の向きが変わると電磁石の極が変わることを理解できる。 電磁石を利用した道具を工夫して作り、それが電磁石のどのような性質を利用しているかを理解することができる。 <p>人の誕生／受けつがれる生命</p> <ul style="list-style-type: none"> 人のたん生や人の母体内での成長に興味をもち、資料収集やその活用を意欲的に行うことができる。 動植物についての学習を振り返り、生命が連続していることをとらえるとともに、生き物の巧みさや不思議さ、神秘さに感動し、生命を尊重しようとする。 <p>もののとけ方 ものが水にとける量／とけているものの取り出し方／水よう液の重さ</p> <ul style="list-style-type: none"> 水の温度や量による溶け方の違いを調べ、物の溶け方の規則性についてとらえることができる。

理科の評価

・理科では4つの観点で評価します。

自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考	観察・実験の技能・表現	自然事象についての知識・理解
自然現象を意欲的に追究し、生命を尊重するとともに、見いだしたきまりを生活に当てはめてみようとする。	自然事象の変化とその要因との関係に問題を見だし、条件に着目して計画的に追究し、量的変化や時間的変化をとらえ、問題を解決する。	問題解決に適した方法を工夫し、装置を組み立てたり使ったりして観察、実験やものづくりを行い、その過程や結果を的確に表現する。	生命は子孫に受け継がれて連続していることや、物の状態は与える条件によって規則的に変化すること、気象現象や流水の動きには規則性があることなどを理解している。

・次のような方法で見していきます。

発言内容 ノートのまとめ方 プリント テスト 学習態度 実験の様子 研究内容 活動の様子

おうちの方へ

・観察や実験などの直接経験を重視しながら、自然に対する科学的な見方や考え方を育てていきます。
 ・家庭でも、日頃から自然に親しむ活動をされているとより関心が高まっていくと思います。